

令和4年第6回定例公安委員会会議録

開催日時 令和4年3月3日(木)午後0時30分～午後3時10分

開催場所 警察本部各執務室、黒坂警察署執務室
西部地区運転免許センター聴聞室(リモート)

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時30分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 衣笠委員

警察本部 川島警務部長 岡山首席監察官 前田生活安全部長
谷村刑事部長 柴田交通部長 加藤警備部長
青木警察学校長 濱口情報通信部長 砂澤黒坂警察署長

(事務局等～山脇公安委員会補佐室長、総務課員)

3 議題事項

4 報告事項

- 鳥取県警察採用戦略2022(警務部)
- 令和3年度留置施設実地監査の実施結果(警務部)
- 令和3年度鳥取県警察サイバーセキュリティ競技大会の開催(生活安全部)
- 鳥取砂丘周辺における自動運転実証実験(交通部)
- 3月中の入校及び訓練概況等(警察学校)
- 地域住民に寄り添う情報発信活動(黒坂警察署)

(1) 鳥取県警察採用戦略2022(警務部)

警察本部

県警察では、将来を担う優秀な人材を確保するため、平成29年から採用戦略を策定している。

令和3年の採用情勢は、警察官は、競争倍率が過去5年の中で最高となり、応募者数と受験者数も過去5年間の平均以上であった。警察行政職員は、競争倍率が7.1倍と、応募者数、受験者数及び競争倍率とも令和2年に引き続き高水準を維持したことから、採用戦略の一定の効果があったものと考えている。

本年も組織一丸となった採用活動を推進するため、昨年に引き続き、採用広報活動、採用募集活動及び辞退防止活動を基軸として採用戦略を策定した。

採用広報活動では、LINE公式アカウントや各種広報媒体を活用するとともに、平素の警察活動を通じた広報を行う。採用募集活動では、若手職員をリクルーターに指名し、訪問活動を行うほか、オンライン説明会、オープンキャンパス等を実施する。辞退防止活動では、内定者や家族への訪問や内定者説明会などを通し、丁寧な説明による不安感の払拭を図る。

今月から採用試験の受付が順次開始となるが、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、本戦略に基づき、強力に採用活動を進めていく。

委員

受験者の年代には、動画の掲載などが有効だと思う。目に留まるような動画で県警察の魅力を伝えることができれば良いと思う。

委員

受験者数の推移等を見ると、採用戦略の効果があったものと思う。民間でも動画を活用しているが、職場の雰囲気などが伝わりやすい。警察は堅いイメージが強いので、良いイメージが伝わればと思う。

委員

ミスマッチによる退職もあると思うので、ミスマッチを少なくすることも大切である。

(2) 令和3年度留置施設実地監査の実施結果（警務部）

警察本部

いわゆる刑事収容施設法に基づき、被留置者の処遇の斉一や法律の適正な施行を期することを目的に、全警察署を対象として、留置施設実地監査を実施した。

実施項目は、「留置施設の管理運営に関すること」及び「被留置者の処遇に関すること」であり、指摘事項の改善措置は監察課において確認済みである。

引き続き、継続的な指導や巡視により留置管理業務の適正な運営に努める。

委員

留置管理業務は、コロナ禍では通常以上に気を遣う場面も多いと思うが、工夫し、適正に行われている。

小さな事象の見過ごしが大きな事案に発展することがあるので、ささいなことでも一つ一つ対応していくことが大切である。

警察本部

引き続き、基本の徹底など、指導に努める。

委員

ケアレスミスでも見逃さず、緊張感を維持するよう監査を行っていただきたい。

委員

指導や監査がマンネリ化しないよう実施していただきたい。

(3) 令和3年度鳥取県警察サイバーセキュリティ競技大会の開催（生活安全部）

警察本部

本年2月17日、サイバーセキュリティ競技大会を初開催した。

これは、サイバー空間の脅威に関する捜査活動に必要な高度で専門的な知識・技能に関する研さんを推進し、もって警察組織の人的基盤強化を図ることを目的としており、警察本部を主会場としてリモート形式で実施した。

大会には、サイバー犯罪対策課の勤務経験がない者の中から各警察署2名が出場し、ログ解析や想定事案に基づく問題の回答数等を競った。結果は、優勝が黒坂警察署、準優勝が鳥取警察署であった。今後、大会の問題解説等のフォローアップを実施予定である。

委員

サイバーは、今後ますます重要な分野なので、引き続き全体のレベルアップを図っていただきたい。

委員

サイバーに関する知識は多くの業種で求められている。その中で、警察もサイバー犯罪等への対応が求められるので、この開催目的のとおり、職員の研さんに努めていただきたい。このような大会は、動機付けになる取組だと思う。

(4) 鳥取砂丘周辺における自動運転実証実験（交通部）

警察本部

鳥取砂丘周辺において自動運転実証実験が実施されている。これは、運転手不足が深刻化する中で、自動運転技術を活用した持続可能な地域公共交通の確保や、

砂丘観光の中心である東側エリアとリゾートホテルの開業等が予定されている西側エリアを結ぶ利便性の高い交通の確保を目的としている。

実施期間は、本年2月15日から同月23日までと、本年3月1日から同月6日までの2回である。ルートは、鳥取砂丘会館からチュウブ鳥取砂丘こどもの国の往復約4キロメートルであり、コントローラで操作する車両を用い、操作者も同乗している。

県警察では、実証実験に向け、車両操作者等を対象とした運転免許試験場試験官による審査を実施し、実証実験実施ルートを交通事故や自動運転システム等の不具合を生じさせることなく、法令に従って基本的に自動走行させることが可能かなどを確認した。

委員

今後も実証実験は予定されているか。

警察本部

現時点では把握していない。

委員

自動運転導入に向け、今後も同様の実証実験が予想されるが、安全に実施されるよう県警察として対応していただきたい。

(5) 3月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

警察本部

現在入校中の初任補修科第41期は3月8日に卒業し、警察署において実戦実習を行う。3月中は専科等の入校はない。

2月中は、捜査書類作成能力検定、柔剣道昇段審査、卒業考査、幹部による訓育等を実施した。

委員

コロナ禍のため、例年と比べ、術科訓練や、できなかった教養もあると思うが、現在の状況はどうか。

警察本部

現在は、感染防止に配慮して術科訓練を実施している。その他の教養についても補完している。

委員

4月になれば新たに初任科生が入校するが、引き続き新型コロナウイルス感染

症対策を徹底し、教養を行っていただきたい。

(6) 地域住民に寄り添う情報発信活動（黒坂警察署）

黒坂警察署

当署管内は高齢化率が高い地域であり、管内人口の約半分が高齢者である。

当署では、住民の記憶に残る施策として、情報発信活動に取り組んでいる。昨年は、管内の小学校と役場の御協力を得て、小学生による特殊詐欺被害防止を呼び掛けるメッセージを収録し、防災無線で放送した。また、管内の高校とスーパー等の御協力を得て、高校生による特殊詐欺被害防止のメッセージを収録し、買い物客が多い時間帯に店内で流していただいている。いずれも非接触型の取組であることからコロナ禍では有効であるとともに、店内放送は繰り返し放送されるため、効果的だと考えている。

昨年末には、地元ゆかりのあるエアライフル競技で東京オリンピックに出場された中口遥さんを一日警察署長に委嘱した。そのほか、昨年は県警察OBとともに特殊詐欺被害防止広報を実施した。

先月からパトカーマイクを活用した広報を行っている。これは、コロナ禍のため巡回連絡が難しいことから、方法を変えて各種広報を行うため、駐在所勤務員によるメッセージを収録し、音声を流しながらパトロールをしている。そのほか、管内の3町はケーブルテレビの普及率が高いことから、署員によるドラマ仕立ての番組やCMを制作し、特殊詐欺被害防止や飲酒運転根絶を呼び掛けている。

住民に響く情報発信を行うためには、警察官が目的を理解し、伝え方の工夫を続けることが大切であると考えている。今後も取組を継続し、管内治安の維持向上を図っていく。

委員

独居の方など様々な高齢者がいるが、情報が届くように地道に対応していただければと思う。管内が広く大変かもしれないが、地道な取組が住民の安心につながるので、引き続きよろしく願います。

委員

高齢化率が高いため、寄り添う情報発信活動は情勢にマッチしていると思う。

様々な工夫をされているが、特に、小学生や高校生のメッセージは、高齢者の孫世代に当たるので声が届きやすいと思う。

委員

小学生から警察OBまで、住民と協力して啓発活動をされていると思う。

警察の見せる活動は意識付けにもなり、効果的だと思う。引き続き住民のための活動を行っていただきたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

- ・鳥取県警察採用戦略2022
- ・令和3年度留置施設実地監査の実施結果

4 報告事項

- ・審査請求の受理
- ・行政処分関係（生活安全企画課）
- ・竹島の日における警備諸対策
- ・鳥取県警察大規模警備対策委員会等の開催

5 決裁

- ・運転免許事後取消し
- ・鳥取県公安委員会における特定秘密の保護に関する規程の一部を改正する規程

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。